

学校経営方針

教育理念 すべての「やなぎっ子」の学びを保障する

学校教育目標

生きる力を備え、地域で活躍できる人材の育成

たくましい子 かしこい子 やさしい子

1. 児童の生命の安全を守り危機管理に努める。
2. 全職員の創意工夫と積極的な経営参画により、教育目標の具現化に努める。
3. 児童一人一人が生き生き生活し、自己肯定感・自己有用感が持て、自分の未来を思い描けるきめ細かい指導に努める。
4. 研修を充実させ、わかりやすい授業づくりに努める。
5. 清潔・整然とした環境づくりに努める。

目指す学校像

対話を通してふれあいと伝統が息づく学校

- 安心してかいっぱい活動できる学校
- 一人一人が生き生きと活動する学校
- 児童・教職員共に豊かな人間関係を築く学校
- 安心安全に整備され、清潔感のある学校
- 地域や保護者に信頼される学校

目指す教師像

学び合い・高め合って学び続ける教師

- 人間性豊かな教師
- 子どもを信じ、子どもと共に学び、成長する教師
- 子どもの人権を尊重し、温かさで厳しさで指導支援する教師
- 協働の中から、専門性や能力の向上を目指す教師
- 子どもや保護者、地域から信頼される教師



やなぎっ子に育てたい4つの資質・能力



令和6年度 手立て・取り組み



学習指導

わかる授業 基礎基本の定着

主体的・対話的な授業

個に応じたきめ細やかな指導

福祉教育の実践 体験活動

キャリア教育の充実 活用型図書館

地域との連携

コミュニティスクール4年目 学校・家庭・地域の連携強化

幼保こ小 小中高連携の推進

開かれた学校づくり 情報発信

地域人材の活用 関係機関との連携

生徒指導

一人一人を大切に 寄り添う励まし

人と関わる機会を意図的に作る  
認め合う学級 安心・安全の居場所  
教育相談の充実 長欠児童への対応  
多様性を大事にする人権教育

道徳・特別活動等

体験的な活動を重視する

人との関わりを通して相手の気持ちを考え 自分をみつめる

道徳授業の更なる充実

道徳的実践力の育成

やなぎっ子の笑顔のために



特別支援教育

交流や通級を通して自立を支援  
子どもの教育的 ニーズを把握し、適切な指導・支援を行う  
特別支援教育校内委員会の実施

関係機関との連携 研修の実施

保健・安全・体力向上

アフターコロナ 丁寧な対応

心身共に健康に過ごせる環境づくり

安全教育 防災・安全体制の強化  
安全に対する危機管理意識の向上  
体力向上の取り組み推進

GIGA スクール構想

一人1台端末の段階的な活用

授業・家庭学習での更なる活用

情報活用能力の育成  
情報モラルの指導と定着  
活用の約束の徹底 (丁寧な取り扱い)

研修

個々の資質を伸ばし 力量の向上  
指導力の向上と児童理解を深める

4つの資質・能力を伸ばす取り組み

認め合い・励まし合い・高め合う  
キャリアステージに合わせた学び

やなぎっ子・教職員 → 全ての土台となる「自己有用感」

自分の属する集団の中で、自分がどれだけ大切な存在であるかということ。自分自身で認識すること